

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511495 (P2005-511495A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-520673 (P2003-520673)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1/113 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 1/113

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

C 0 7 K 14/00

C 0 7 K 14/47

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 19 日 (2005.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱ショックタンパク質と抗原タンパク質の複合体を製造する方法であって、抗原性細胞又はウイルス粒子に由来する抗原タンパク質の集団を、1 つ以上の異なる熱ショックタンパク質と *in vitro* で複合体化するステップを含み、上記集団が、抗原性細胞若しくはウイルス粒子の、又は抗原性細胞の細胞画分に存在する、少なくとも 50 % の異なるタンパク質又は少なくとも 50 種の異なるタンパク質を含む、上記方法。